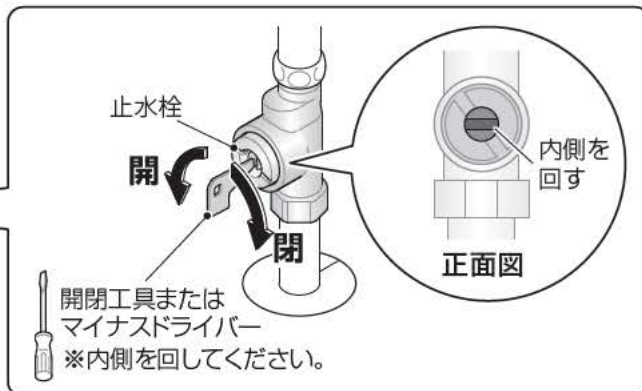
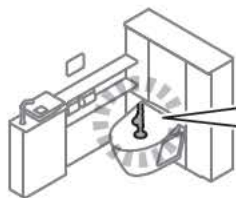


手洗器水栓の水勢調整

① 止水栓のあるキャビネットの扉を開ける

② 止水栓を回して調整する

はじめに P.10



給水フィルターの掃除

給水フィルターが詰まると、タンクへ水をためる時間が長くなったり、手洗器の吐水量が少なくなったりします。その際は、給水フィルターの掃除を行ってください。

① 止水栓のあるキャビネットの扉を開ける

② 止水栓を閉める

はじめに P.10



注意

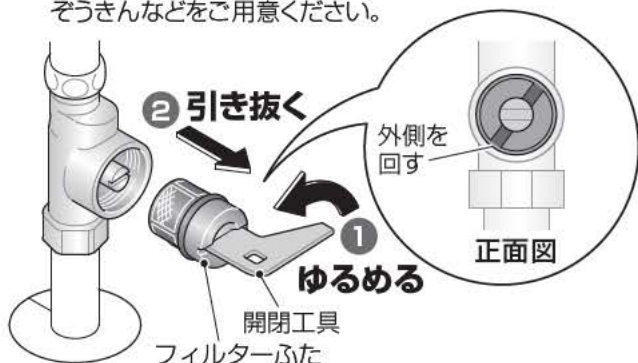


給水フィルターをお手入れなどで外すときは必ず止水栓を閉めてから行う
水が噴き出し、家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

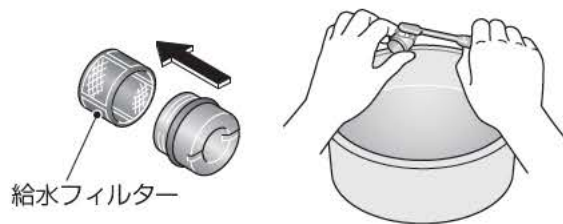
必ず実行

③ フィルターふたを付属の開閉工具で外す

※少量の水がこぼれる場合がありますので、ぞうきんなどをご用意ください。



④ 給水フィルターをブラシなどで掃除する



⑤ 給水フィルター・ふたを元どおりに取り付ける

⑥ 止水栓を回し、適当な吐水量に調整する

手洗器水栓の水勢調整 本ページ上部

⑦ キャビネットの扉を閉める

こんなときは

手洗器水栓の水勢調整
給水フィルターの掃除

冬場の凍結を防ぐ

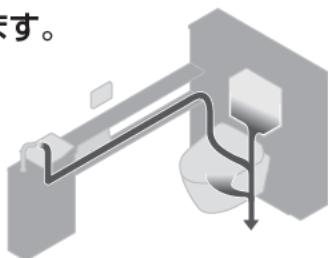
大便器部

凍結予防には2通りの方法があります。
凍結が予想されるときは、以下の処置を行いましょう！

- 商品が凍結すると機器が破損します。(水漏れの原因)
- 凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。
- 凍結のおそれがある場合は、トイレ内は暖房などをして周囲の温度が凍結予防限界温度以下にならないようにしてください。

水抜方式

器具および配管中の水を抜いて凍結を予防します。

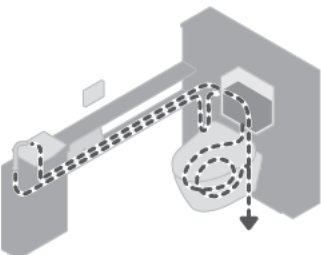


凍結予防限界温度

大便器・タンク	室内暖房用	0℃
	ヒーター付便器併用	-15℃
ウォシュレット部		0℃
手洗器部		0℃

流動方式

少量の水を流し続けて凍結を予防します。
水は動いていると0℃以下でも凍りにくい性質があります。
※タンクの流動レバーを開けた場合、水が流れ続けますので、水道代が加算されます。(目安:90L/時)
※ウォシュレット部に流動方式はありません。

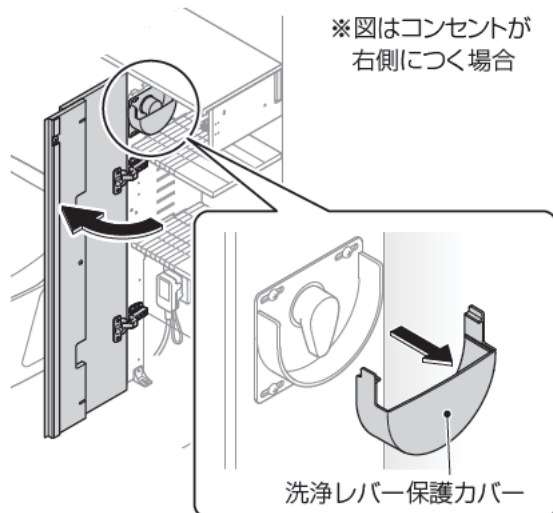


凍結予防限界温度

大便器・タンク		-10℃
手洗器部		-10℃

水抜方式

- ① キャビネット扉を開ける
- ② 水抜栓(他社商品)またはキャビネット内の止水栓で、給水を止める
参照 水抜栓の操作方法は、水抜栓の取扱説明書を参照してください。
- ③ 電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認する
※凍結のおそれがないときはヒーターの電源プラグは抜いてください。
- ④ 洗浄レバー補助カバーを外側へ引いて外す



- ⑤ 洗浄レバーを、手前側いっぱいに戻したまま外側に引く



- ⑥ レバーがロックされ、タンク内の水が大便器に抜ける
- ⑦ 洗浄レバーのカバーを付ける